

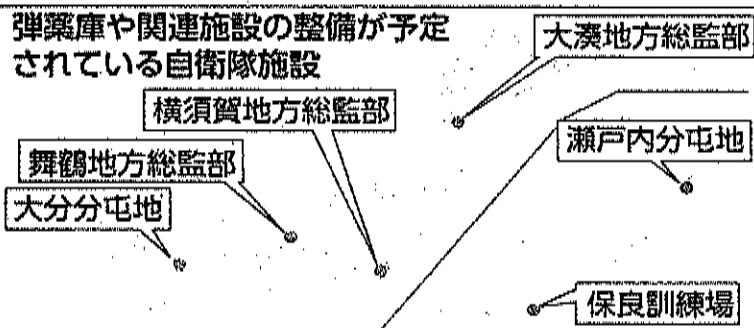
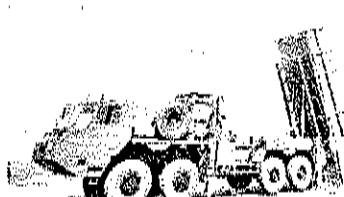
# 沖縄・奄美 弹薬庫増 南西諸島の戦場化加速

## 23年度方針

「戦闘能力」を強化するため、弾薬庫を増設する方針。防衛省はこのほど、2023年度に奄美大島の陸上自衛隊瀬戸内分屯地（鹿児島県内町）と、先島諸島の保良訓練場（沖縄県宮古島市）に弾薬庫を増設する方針を本紙の取材に対し、明らかにしました。

政府は、「国家防衛戦略」など文書に基づき、

12式地対艦誘導弾  
(陸上自衛隊提供)



狙っています。

また、同省は海上自衛隊の横須賀地方総監部（神奈川県）で弾薬庫の関連施設を整備する方針を示しました。

浜田靖一防衛相は17日の会見で、23年度に海自大湊地方総監部（青森県むつ市）と陸自大分分屯地（大分市）に大型の弾薬庫を2棟ずつ設置すると表明。さらには、6棟程度を新設する方向で調査を進めます。

これらは長射程の敵基地攻撃兵器（スタンド・オフ・ミサイル）の保管にあるとみられます。防衛省は23年度予算案に、大型弾薬庫の整備費58億円を計上しています。